

障害者グループホーム体制強化支援事業実施要綱

30 福保障地第2267号

平成31年4月1日

(目的)

第1 この要綱は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号。以下「法」という。）第5条第17項に規定する共同生活援助を行う事業所のうち、身体や行動の特性上、特別な支援を必要とする重度の利用者を受け入れるために手厚い職員配置を行っている事業所における体制を確保することにより、もって障害者の地域社会における自立生活を助長することを目的とする。

(実施主体)

第2 本事業の実施主体は、都内で、法第5条第17項に規定する共同生活援助を行う事業者とする。

(事業の単位及び内容)

第3 本事業はユニットごとに実施し、次の各号に定める内容をいずれも満たすものとする。ただし、知事が特に必要と認める場合を除き、他の公的制度の対象となっている事業、他の制度により補助されている事業は除くものとする。

1 体制強化Ⅰ

- (1) ユニットの利用者について、ユニット定員数に対する障害支援区分が4以上である利用者数の割合が8割以上であること。
- (2) 本事業の対象となるユニットを含む事業所の世話人の配置が4：1を満たしていること。
- (3) (2)に上乗せして、ユニットの従事者の配置について、世話人の配置が4：1のユニットとして必要とされる世話人及び生活支援員の配置数に加えて、常勤換算方法で0.4人の職員を加配していること。
- (4) ユニットごとに、夜間支援従事者を1名配置した上で、夜間支援等体制加算Ⅰを取得していること

2 体制強化Ⅱ

- (1) ユニットの利用者について、ユニット定員数に対する障害支援区分が4以上である利用者数の割合が8割以上であり、かつ、次のいずれかに該当する利用者を受け入れていること。
 - ア 障害支援区分6である者
 - イ 障害支援区分4以上であり、かつ、障害支援区分の認定調査項目のうち行動関連項目等（12項目）の合計点数が10点以上である者

ウ 障害支援区分4以上であり、かつ、次の区分に該当する障害者手帳を2つ以上所持している者

(ア) 身体障害者障害程度等級表の1級、2級

(イ) 知的障害（愛の手帳）総合判定基準表の1度、2度

(ウ) 精神障害者保健福祉手帳障害等級判定基準の1級、2級

(2) 本事業の対象となるユニットを含む事業所の世話人の配置が4：1を満たしていること。

(3) (2)に上乗せして、ユニットの従事者の配置について、世話人の配置が4：1のユニットとして必要とされる世話人及び生活支援員の配置数に加えて、常勤換算方法で1.0人の職員を加配していること。

(4) ユニットごとに、夜間支援従事者を1名を超えて配置した上で、夜間支援等体制加算Ⅰを取得していること

(費用の補助)

第4 この要綱に基づく事業につき、実施主体である事業者が要した費用について、東京都は別に定める基準に基づき、予算の範囲内において補助する。

(委任)

第5 この要綱の実施に必要な事項は、別に定めることができる。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。